

会 議 録

1 会議名

第3回上越市自立支援協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 地域生活支援部会からの報告（地域生活支援拠点について）（公開）
- (2) 障害福祉サービス施設ハンドブックについて（公開）
- (3) その他(非公開)

3 開催日時

平成27年9月30日（水）午後3時30分から午後5時10分

4 開催場所

福祉交流プラザ2階 相談室6

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：丸山ひろみ、難波祐子、宮越亮、丸田明久、山崎次男、田邊信、西山俊彦、
青木一美、山本拓郎、田中靖子、牛木秀人
- ・事務局：福祉課 小林係長、大島主任、

8 発言の内容

（小林係長） ただ今から、第3回自立支援協議会を開会いたします。本日は、片桐委員の代理として丸田委員から出席をいただいております。笠原会長、中屋委員、青木（美）委員、中村委員、井部委員、飯塚委員、山川委員、新保委員の8名から欠席報告がありました。よって、上越市自立支援協議会設置要綱第6条第2項により半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを報告します。

（宮越副会長） それでは、議事に入らせていただきます。本日の協議は3点あります。
(1) 地域生活支援部会からの報告（地域生活拠点について）
(2) 障害福祉サービス施設ハンドブックについて
(3) その他
となっております。よろしく申し上げます。
(1) 地域生活支援部会からの報告（地域生活拠点について）

始めに地域生活支援部会からの報告ということで、報告させていただきます。

(小林係長) 事務局から現状と課題を説明させていただきます。

<資料 障害福祉の現状と課題について 説明>

(宮越副会長) ありがとうございます。自立支援協議会は地域課題を抽出してその解決に向けてどうするかを議論していくことを中心に活動としています。今の資料はそれをまとめたものだと思います。それぞれの部会が地域課題として議論されているかだと思います。参考までに他の自立支援協議会の様子を見ますと抽出して協議して解決しようという行動的な自立支援協議会があります。ここは年間の検討課題を持たずに、その都度に地域課題を出して行動しています。そのようなやり方もあります。

私から今年創設されました地域生活支援部会の中間報告をさせていただきますと思い、資料を用意しました。

<資料 地域生活支援部会中間報告 説明>

以上です。中間点ですので、部会として、これが上越モデルですという形の完成は2月くらいを目標としています。どのようになるのかというのはまだ見えませんが、議論の途中ということで中間報告をさせていただきます。ご質問はありますか。

(山崎委員) 非常に良いと思いますが、多機能拠点整備型で考えているということですが、誰が具体的にこの事業をするのかということになります。例えばグループホームの併設だが、これも誰がやるのか、上越市としてどのように考えているのか、少なくともこういう事業をやるということでもとめるのにとりあえずの資金の補助が来るかだと思います。

(宮越副会長) モデル事業として50万円です。

(山崎委員) それではできないと思います。

(宮越副会長) 施設整備は別です。講演会を行うなどということです。

(山崎委員) 最終的には将来を描いていると思います。上越市が音頭をとるのか、自立支援協議会が音頭をとるのか分かりませんが、それぞれの事業者が関わっていくということになりますよね。そのように理解したほうがよいでしょうか。

(小林係長) はい。

(宮越副会長) 特に面的な整備を考えた時には、そういう場面が出てくると思います。

(牛木委員) 今のやり取りでは、最終的にどのような形で反映されるのかということがなかなかイメージできずに心配されているかと思います。どのような形が上越市には良いのかということをご提案いただいています。そのメニューのうちがのりましようか、という事業所があるかどうかということです。現在では、ないことはないという状況です。その事業所とは別にそれぞれの事業所もグループホームや短期入所などの計画をしています。それ

と今、描いている拠点と最終的には合わせるというか重ねるといふか、そのような作業が出てくるといふ思います。そして実際今、どういふ人がどのようなことであつていふかといふことをしっかりと押さえたうで全体的な計画を立てなくてはいけなかつていふ思います。これから先は計画の最終的な完成までにこの重ねるといふ作業がでかないときちんとして物にはならないといふ思います。

(山崎委員) それは分かりますがどちらが先になるかといふ話になります。

(牛木委員) 昨年、上越市障害者福祉計画を作成する段階で各事業所のさまざまな計画を聞いていふます。その中に拠点の計画も出ていふます。それと他の事業所の計画と合わせて過大になると困ります。過不足をよく見据えながら最終的に必要となる整備計画を立てなくてはいけなかつていふ思います。それには福祉課がしっかりとしたデータを皆さんに示さなくてはいけなかつていふ思います。いろいろな作業を重ねていくことになるといふ思います。

(宮越副会長) 私たちもまだあいまいな点がありますので、さまざまな情報を聞きながら計画を立てていふきたいといふ思います。

(牛木委員) どういふ形で進めていけばよいかといふことを考えていかななくてはいけません。

(山崎委員) よく分かりました。この面的な整備はこれで良いといふ思います。多機能型の中のグループホーム併設型になると今後整備するグループホームがどのような規模になるのかといふ話が出てきます。その時に距離的には市街地からは遠いが、清里区の京ヶ岳や大島区のあさひ荘などお風呂があるのでそれを利用したりそこに特殊浴槽を入れたりするのによいといふ思います。今ある宿泊施設を整備してエアコンも各部屋にあるので、グループホームの入居者の部屋になるといふ思います。ただ、重度障害の場合は京ヶ岳はそのまま使えません。上越市としてそのような施設を再利用していくといふ考えが必要だといふ思います。

(牛木委員) その視点も入れて、地域全体でどのような施設が空いていふかをリストアップしなくてはいけません。公営住宅の活用の部分も必要になってくるかといふ思います。

(山崎委員) 公営住宅の利用は私もよいといふ思いましたが、市街地の公営住宅は待機者がいて空きはありません。空いていふのは 13 区の公営住宅です。そこはいつでも入れますが、入居しません。ほくほく線があるので大島区の公営住宅は利用しやすいといふ思うが、ほとんど利用がありません。だから使えるとしたら、郊外の公営住宅だといふ思います。市街地の公営住宅で待機者がいふ中、障害者用に部屋をほしいといふのも一つの意見だが、これはなかなかうまいかといふ思います。

(牛木委員) 実際、おおすぎの里のグループホームで公営住宅を利用できないかといふことで話をいただきましたが、結果としては難しいといふことでした。

(山崎委員) それは、制度的に難しいといふことでしょうか。上越市として利用できないといふことでしょうか。

(牛木委員) さまざまな問題があり難しいといふことでした。事業所は空きのある公

営住宅を利用したいと考えていることは分かりました。

(西山委員) サテライトとして市営住宅を検討したのですが、問題がありました。

(山崎委員) 利用できるようにしてはどうか。

(宮越副会長) 高齢者専用賃貸住宅はあるが障害者専用住宅ができると良いなと話しています。その障害者専用住宅を公営住宅として借り上げて入居することになると安価に入れるという仕掛けができるのではないかと議論をした覚えがあります。このようなやり方もあって既存のアパートということもありますが、細かな議論を積んでいかななくてはうまくいかないです。

地域生活支援部会としてもう少し今の話を踏まえながら議論を進めていきたいと思っています。いずれ、協議会としてこのような形を用意したということになりますが大事なところだと思うので、またご意見をお願いしたいと思います。

(2) 障害福祉サービス施設ハンドブックについて

(小林係長) 障害福祉サービス施設ハンドブックの更新について説明させていただきます。皆さんの手元にある緑色の冊子は現在利用している冊子です。これにつきまして本日皆さんからご意見をいただき更新をかけていきたいと、前回話をさせていただきました。本日皆さんからご意見をいただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

(宮越副会長) 事業所的には廃止や新設など増減があるのでしょうか。

(小林係長) 事業所のプラスの方が多いです。

みなさん、いかがでしょうか。

(宮越副会長) 定員などは市で把握されていますか。

(小林係長) 事業所からの報告に基づき把握し、定員や登録者数などは市でも必要なところでもあります。

(田中委員) 前回ここまで必要なのかという意見があったような気がします。

(小林係長) 就労やグループホームなど定員や登録者数は必要だと思います。月の利用者数や受け入れ可能数は必要なのかどうか。ただ、一番聞きたい人は、山川委員や新保委員が見てどのように感じるかと思いました。本日はお二人ともお休みなので残念です。

(田中委員) ホームページなどを作って新しいデータになっているのであれば随時更新して受け入れ可能数を入れてよいと思います。紙ベースで1年に1回の更新であれば、ここまで出さないほうが良いかと思いました。

(小林係長) 必ず1年に1回更新できればよいですが、状況によっては2年に1回になってしまうこともあるかもしれません。だから、平均利用者数はどんなものかなと思いました。言葉の変更など内容の更新はいくらでも差支えないので、みなさんをお願いの文章を出したいと思います。

(難波委員) 月の平均利用者数というのは、施設利用を希望する人への事業所を紹介する時に利用させていただきたいので、ホームページ上で新しい情報を随時見られるのであれば必要な数字になってくると思います。紹介するときには電話してその都度確認するというにならないように配慮いただけれ

ばと思います。

- (西山委員) 内容はとても良いと思いますが、誰向きなのかと疑問を感じることがあります。分かりやすい版があってもいいのかなと思います。写真が鮮明ではないので分かりやすい版では写真を大きくするなどしてイメージが湧くような感じにしたほうがよいかと思います。
- (宮越副会長) ページの見方は 17 ページに全部書いてあります。これはこれで良いかと思います。
- (小林係長) 写真は印刷をしているので画質が悪くなっていますが、もう少し大きくする方法があるので、写真を交換したい場合は交換をしてもらいたいと思います。
- (西山委員) 分かりやすい言葉を使ったほうがよいと思います。27 ページで「D.C.・O.T.への通所または通勤」は DC や OT って何ですか、という話になってしまいます。デイケアへ通所というようにしたほうが一般の人が分かりやすい言葉がよいと思います。全部データ化しているのでしょうか。
- (小林係長) 事業所からデータでもらっています。ただ写真がない事業所があって福祉課のほうで加工した部分もあります。これから皆さんに依頼をかけていきたいのですが、11 月 22 日の事業所説明会に参加される事業所のものは抜粋させていただき作るということで考えています。ついては新しい情報で提供できればと思っていますので、関係する事業所に今までのデータをうまく修正していただければと思います。
- (丸田委員) いつくらいまでに修正が終われば良いですか。
- (小林係長) 事業所の定員などの修正は 10 月末までをお願いしたいと思います。様式の変更に関しては本日から 1 週間以内でお願いします。先ほど話ができました、平均利用者数はカットさせていただいてもよろしいでしょうか。
- (委員全員) 了解
- (小林係長) ありがとうございます。平均利用者数はカットさせていただきます。皆さんにご意見を聞かせていただき文書にて周知させていただきます。お願いします。施設ハンドブックはよろしいでしょうか。
- (山崎委員) 平成 26 年 3 月発行となっていますが、なぜ 3 月なのでしょう。受け取る側はなぜ年度末なのか疑問に思うと思います。
- (小林係長) 今回更新する時は月で新事業所を追加して新しいものを作りたいと思います。
- (宮越副会長) 平成 28 年度版などにはいかがでしょうか。
- (小林係長) そうさせていただきます。
- (宮越副会長) ありがとうございます。よろしいでしょうか。その他に入ります。事務局からお願いします。

(3) その他(非公開)

- (小林係長) 最後、大きい 3 番のその他に入ります。事務局からお願いです。
1 点目は、地域生活支援拠点の研修会について説明します。

<チラシ 地域生活拠点とは 説明>

2点目は、次回の開催ですが、定例的に開催してほしいという要望がありましたので10月は研修会などがありますので、11月の第2週の火曜日というところで11月10日(火)15:30~開催をしたいと思います。みなさん、いかがでしょうか。11月10日で予定を入れていただきたいと思います。よろしくお願いします。もし緊急にご連絡があればその都度連絡させていただきますので、その際はよろしくお願いします。私からは以上です。皆さんから、他にありますか。

(宮越副会長) 協議会の定例化ということで話がありました。議論がなくても各部会は動いているので、部会の報告は必ずして情報を共有化していくのはとても大事だと思います。議論などを流してもらえると嬉しいです。このような形で協議会はエンジン部分だと言われて地域を変えていく機能を果たしていかなければならないと思っていますので、ご協力をお願いしたいと思います。本日はそういう意味では地域の緊急課題を議論できて、それを決めるという手ごたえ感があり、協議会らしい協議会の良い面を見ることができました。地域を変えていくという本気感がないと自立支援協議会がうまくいかないのでは、ひとつよろしくお願いします。

(小林係長) とても良い話をありがとうございました。あと、ほかの部会の部会長もいらっしゃるので中間報告としてアンケートをとった結果だけでも良いので、報告いただけたらありがたいと思います。これから先の中でお願ひしたいと思います。他になければ終了といたしますがよろしいでしょうか。

(委員全員) はい。

(小林係長) ありがとうございました。

9 問合せ先

健康福祉部福祉課福祉係 TEL: 025-526-5111 (内線 1151)

E-mail: fukusi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。